

# 南空知圏域連携ビジョン

(2020 ▶ 2024)

令和2年(2020)年10月

岩見沢市、夕張市、美唄市、三笠市、  
南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町

# 目次

1 連携地域及び連携市町の名称	.....
1 連携地域の名称	
2 圏域を形成する連携市町の名称	
2 連携ビジョンの目的	.....
3 連携ビジョンの期間	..... 2
4 南空知圏域の概況	..... 2
1 本圏域の概況	
2 南空知9市町の概況	
3 圏域の人口の推移	
4 圏域の世帯数の推移	
5 圏域の将来像	..... 6
6 地域連携協定に基づき推進する具体的取組	..... 7
1 生活機能の強化に係る政策分野	
(1) 防災	
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	
(1) 地域公共交通	
(2) ICTインフラ	

## 1 連携地域及び連携市町の名称

### 1 連携地域の名称

南空知圏域

### 2 圏域を形成する連携市町の名称

岩見沢市(中心市)、夕張市、美唄市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町



## 2 連携ビジョンの目的

本連携ビジョンは、北海道が定める広域連携加速化事業推進要綱(令和2年7月14日行連第67号)第3の規定により、「南空知圏域の形成に関する協定書」(令和2年10月9日締結)に基づき、連携市町が推進する具体的な取組内容を明らかにするものです。

### 3 連携ビジョンの期間

本連携ビジョンの計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間とし、毎年度所要の見直しを行うものとします。

### 4 南空知圏域の概況

#### 1 本圏域の概況



本圏域は北海道の中央南西部に位置しており、総面積は2,562km<sup>2</sup>で、北海道における面積の約3%を占めています。

4市5町からなる本圏域は、森林や清流に恵まれた夕張山地の山岳、石狩平野の肥沃な農業地帯を有し、道内の米の主要産地となっており、大豆においては北海道トップの作付面積となっています。




また、経済活動や福祉、教育などの分野における住民の通勤・通学、買物をはじめとした日常生活での結びつきに加えて、観光や医療における連携など、行政区を超えた多くの分野で相互に深い関係を築いている地域です。





総人口は、平成27年の国勢調査で16万6千人と昭和35年の国勢調査の418,629人をピークに減少を続け、高齢化率は35.5%と全道の29.0%と比較して高く、国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計（平成30年3月推計）では2040年には7万人減少することが予想されるなど、今後の地域コミュニティの維持が大きな課題となっています。





#### 2 南空知9市町の概況


 <p>岩見沢市 Iwamizawa City</p>	<p>【市の概要】 明治の中期ごろから相次いで道路や鉄道が開通し、交通の要衝に。その後も人口は急速に増え、空知の行政・産業・教育の中心として発展。2006年には、北村、栗沢町と合併し、米の収穫量と作付面積が全道一となりました。</p>
<p>【特徴・魅力】 ・ICTを活用したスマート農業を推進 ・米の作付面積道内1位(2018年) 6,610ha</p>	<p>【特産品・みどころ】 ・ワイン、米「ななつぼし」、キジラーめん、こぶ志焼、北海道グリーンランド、ログホテルメープルロッジ</p>
<p>【主な農産物】 ・米、たまねぎ、白菜</p>	

 <p>夕張市 Yubari City</p>	<p><b>【市の概要】</b> 北海道のほぼ中央に位置し、夕張山地に囲まれた丘陵で、夕張川とその支流の流域に沿って街が形成されています。明治初期に石炭の大露頭が発見されて以降、日本有数の炭都として急速に発展しました。その後、エネルギー需要の移行により炭鉱から観光に舵を切りましたが、2007年に財政再建団体となりました。以降は、「歴史文化」と「自然環境」を大切にコンパクトシティの形成を図りながら、財政再建と地域再生を進めています。</p>
<p><b>【特徴・魅力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夕張メロン</li> <li>・マウントレースイスキーリゾート</li> <li>・ゆうばり国際ファンタスティック映画祭</li> </ul>	<p><b>【特産品・みどころ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夕張メロン、夕張カレーそば、石炭博物館、幸福の黄色いハンカチ思い出広場、滝の上公園、夕張岳、シューパロ湖、マウントレースイスキーリゾート</li> </ul> <p><b>【主な農産物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夕張メロン、長いも、トマト</li> </ul> 
 <p>美唄市 Bibai City</p>	<p><b>【市の概要】</b> 稲作農業が盛んな田園都市。かつては戦後日本を支えた産炭地として栄えてきました。令和元年5月には炭鉱遺産である立坑櫓（炭鉱メモリアル森林）、旧栄小学校（安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄）などの施設が日本遺産に登録されました。</p>
<p><b>【特徴・魅力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産に登録された炭鉱施設群</li> <li>・雪冷房施設や雪冷熱エネルギーを活用した取り組みが盛ん</li> </ul>	<p><b>【特産品・みどころ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美唄焼き鳥、とりめし、ピパの湯ゆーりん館、安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄、宮島沼、炭鉱メモリアル森林</li> </ul> <p><b>【主な農産物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米、小麦、大豆、アスパラガス、ハスカップ</li> </ul>  
 <p>三笠市 Mikasa City</p>	<p><b>【市の概要】</b> 三笠市は、森林が約86%を占める緑豊かなまちです。石炭と鉄道、農業による発展を経て、自然風景・炭鉱遺産・地層などの観光資源に着目した三笠ジオパークや三笠高校での食のスペシャリストの育成などのチャレンジを通じて「誇りと希望にあふれる」まちづくりを目指しています。</p>
<p><b>【特徴・魅力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三笠ジオパーク（日本ジオパーク認定）</li> <li>・三笠高校生レストラン「エンソール」</li> </ul>	<p><b>【特産品・みどころ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品 梅干、三笠の鶏醬、りんごジュース、三笠メロン</li> <li>・みどころ 三笠市立博物館、三笠鉄道記念館、道の駅三笠、三笠北海盆おどり、三笠高校生レストラン、三笠あすか梅の杜</li> </ul> <p><b>【主な農産物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米、メロン、きゅうり、たまねぎ</li> </ul> 

 <p>南幌町 Nanporo Town</p>	<p><b>【町の概要】</b> 石狩平野の中央に位置する田園都市。緑豊かで爽やかな風が心地よく、居住環境に恵まれており、公園施設なども充実しています。</p> <p><b>【特産品・みどころ】</b> ・ピュアホワイト(とうもろこし)、ジンギスカン、ブルーベリーワイン、南幌彗星、三升漬、キャベツキムチ、南幌リバーサイド公園、なんぼろ温泉ハート&amp;ハート</p> <p><b>【主な農産物】</b> ・米、小麦、キャベツ、ねぎ</p> 
<p><b>【特徴・魅力】</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・水稲作付面積2,180ha収穫量12,200tと生産性の高い農業を展開</li> <li>・緑豊かで子育てしやすい住環境</li> </ul>	

 <p>由仁町 Yuni Town</p>	<p><b>【町の概要】</b> 道央南部に位置し、道内主要都市へのアクセスが便利な「都市に近い田舎」のまち。温暖で、積雪も少なく気候も穏やか。地産地消を心がけ、地元の食材を使用した料理を提供する飲食店やカフェが好評です。</p> <p><b>【特産品・みどころ】</b> ・米、花き、原木しいたけ、いちご、オートミール、コーンフレーク、くにをの鮭キムチ、東京ホルモン、ユニの湯、ゆにガーデン、伏見台公園</p> <p><b>【主な農産物】</b> ・米、小麦、大豆</p>  
<p><b>【特徴・魅力】</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしやすく、道内主要都市へのアクセスが便利</li> <li>・豊富な農作物と自然と癒しのある観光資源</li> </ul>	

 <p>長沼町 Naganuma Town</p>	<p><b>【町の概要】</b> 道都札幌に近接する「ひと・緑がかがやく田園と交流のまち」。ながぬまコミュニティ公園や道の駅マオイの丘公園など、美しい農村風景を活かした観光施設も好評です。</p> <p><b>【特産品・みどころ】</b> ・ジンギスカン、どぶろく、ワイン、豆腐(長沼産大豆使用)、文学碑、東庭園、ハイジ牧場、ながぬま温泉、マオイオートランド、農産物直売所</p> <p><b>【主な農産物】</b> ・米、小麦、大豆、たまねぎ、白菜、ブロッコリー</p>  
<p><b>【特徴・魅力】</b></p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物やファームレストランの食の魅力</li> <li>・田園風景の景観</li> <li>・年間1,500名を受け入れる農業体験</li> </ul>	



**栗山町**  
Kuriyama Town



**【町の概要】**  
 夕張山地と夕張川に挟まれた緩やかな丘陵地帯に位置し、農業を基幹産業とする他、酒蔵をはじめとする商業や工業も盛んな田園都市として発展しています。


**【特産品・みどころ】**  
 ・日本酒(北の錦)、谷田の日本一きびだんご、さらさらレッド(玉ねぎ)、北の錦記念館、オオムラサキ館、栗山公園

**【主な農産物】**  
 ・米、ばれいしょ、たまねぎ、アスパラガス、とうもろこし、メロン

**【特徴・魅力】**

- ・国蝶オオムラサキが生息する日本北東限地域
- ・雨煙別小学校ココ
- ・コーラ環境ハウスの自然体験教育



**月形町**  
Tsukigata Town


**【町の概要】**  
 北海道で最初に設置された樺戸集治監(刑務所)とともに空知で最初に開村しました。月形樺戸博物館や皆楽公園など歴史と自然が調和したまちです。基幹産業は農業で、水稻、メロン、スイカのほか、北海道有数の切花の産地「花の里」として知られています。

**【特産品・みどころ】**  
 ・メロン、スイカ、トマトジュース、ジンギスカン、まんじゅう、月形樺戸博物館(旧樺戸集治監本庁舎)、皆楽公園、月形温泉、道民の森月形地区

**【主な農産物】**  
 米、花き、果菜、トマト・ミニトマト

**【特徴・魅力】**

- ・旧樺戸集治監本庁舎は北海道・日本遺産構成文化財
- ・皆楽公園は旧石狩川を活かした27haの水辺空間



### 3 圏域の人口の推移

(単位:人、%)

自治体	1990	2000	2010	2015	2020	2030	2040	2015-2040増減率
岩見沢市	93,312	96,302	90,145	84,499	78,591	66,101	53,640	△ 36.5
夕張市	20,969	14,791	10,922	8,843	7,185	4,603	2,882	△ 67.4
美唄市	35,176	31,183	26,034	23,035	20,254	15,173	10,912	△ 52.6
三笠市	17,049	13,561	10,221	9,076	7,743	5,502	3,851	△ 57.6
南幌町	5,665	9,792	8,778	7,927	7,176	5,854	4,559	△ 42.5
由仁町	7,809	6,910	5,896	5,314	4,767	3,748	2,843	△ 46.5
長沼町	12,282	12,452	11,691	11,076	10,401	8,946	7,419	△ 33.0
栗山町	16,101	14,847	13,340	12,344	11,424	9,506	7,587	△ 38.5
月形町	5,537	5,144	4,859	4,577	4,290	3,632	2,958	△ 35.4
圏域合計	213,900	204,982	181,886	166,691	151,831	123,065	96,651	△ 42.0

出典:「国勢調査」(総務省)、「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月公表)」

(国立社会保障・人口問題研究所)

#### 4 圏域の世帯数の推移

(単位:世帯、km<sup>2</sup>)

自治体	1990	1995	2000	2005	2010	2015	(参考:面積)
岩見沢市	32,388	35,731	36,941	37,322	36,723	36,155	481.02
夕張市	8,791	7,593	6,878	6,275	5,558	4,539	763.07
美唄市	12,552	12,771	12,437	11,894	10,992	10,173	277.69
三笠市	6,628	6,266	5,887	5,422	4,776	4,254	302.52
南幌町	1,546	2,618	2,992	3,130	3,068	2,973	81.36
由仁町	2,392	2,377	2,402	2,387	2,258	2,149	133.74
長沼町	3,517	3,779	4,096	4,404	4,324	4,257	168.52
栗山町	5,375	5,613	5,644	5,698	5,484	5,186	203.93
月形町	1,605	1,591	1,560	1,535	1,511	1,466	150.40
圏域合計	74,794	78,339	78,837	78,067	74,694	71,152	2,562.25

出典:「国勢調査」(総務省)、「令和2年全国都道府県市区町村別面積調(令和2年7月1日時点)」  
(国土地理院)

#### 5 圏域の将来像

我が国においては、これまで経験したことのない人口縮減時代を迎え、東京圏でさえも人口減少が避けられず、深刻な若年労働力の不足が経済発展の妨げとなるなど、社会環境の危機的な変化が目前に迫っています。地方においても、少子高齢化の急速な進行や厳しい財政状況、地域経済の低迷など、地方自治体の将来は、より一層厳しさを増すことが予想されます。

4市5町で構成する本圏域においては、自治体間のつながりが深く、昭和48年の広域市町村圏の指定を受けて以降、多くの広域連携事業に取り組んでいるほか、消防・水道・ごみ処理などにおいても一部事務組合によって共同処理されておりますが、人口減少下においても持続可能な行政サービスを提供できるよう、連携市町がそれぞれの特徴を活かしながら、密接な連携と役割分担の下で、圏域住民の生活に必要な機能を確保していく必要があります。

2018年に発生した北海道胆振東部地震や記録的短時間大雨など想定外の災害が起こる中、発災に備えた防災対策をはじめ、利用者が年々減少している地域公共交通の維持確保、さらには、人口減少に伴う労働力不足、業務の高コスト化などの諸問題に対応し、行政サービスの維持・確保や地域活性化を図るためのICTインフラなどの分野に取り組むなど、本圏域に必要な生活機能の確保及び地域の活性化を図り、安心して暮らし続けることができる圏域をめざします。



## 6 地域連携協定に基づき推進する具体的取組

### 1 生活機能の強化に係る政策分野

#### (1) 防災

##### 地域防災体制等の充実

##### (協定の内容)

住民が安心して住み続けることができるよう、災害リスクを直視し、いざという時に自らの命を守り、地域で支え合うことができる「災害に強い地域づくり」を目的に、職員・住民への防災教育や備蓄等、まさかへの備えを連携して進めていく。

##### (具体的取組)

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9市町の職員や自主防災組織、住民など各層を対象とした防災教育・防災訓練等の共同実施</li> <li>・防寒着や段ボールベッド等、被災時の避難所生活に必要な物資を中心とした必需品の共同備蓄</li> <li>・圏域内の防災対応状況が共有可能なツールの検討、開発</li> <li>・隣接市町への広域避難や広域備蓄など、広域連携体制の構築</li> </ul>					
連携市町の役割	<p>【岩見沢市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町と連携して行う取組の企画調整等総合業務</li> <li>・防災関係機関・団体等との連絡・調整</li> <li>・その他、連携における中心的な業務</li> </ul> <p>【夕張市、美唄市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織や住民などへの連絡・周知・広報等の協力</li> <li>・必要に応じ、研修会場や備蓄品の収納場所等の協力</li> <li>・その他、連携における各種協力</li> </ul>					
事業効果	連携市町における住民の防災意識の高揚を図ることにより、圏域の防災力向上が期待できる。					
備考	発災時における連携対応は、「南空知災害時相互応援に関する協定」（平成24年11月26日）に基づき実施し、平常時の備えの取組を広域連携により行う部分は本事業で実施することを基本とする。					
事業見込額 (単位:千円)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	計
	3,000	6,000	5,000	5,000	4,000	23,000

## 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### (1) 地域公共交通

#### 地域公共交通の維持確保と利用促進

##### (協定の内容)

高齢化や人口減少社会に対応した住民の移動手段の確保や観光客など交流人口も含めた移動の利便性を図ることを目的に、交通ネットワーク整備や公共交通の利用促進等を連携して進めていく。

##### (具体的取組)

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の利便性の向上に資するICT等を活用した各種交通モードの連携の円滑化</li> <li>・地域公共交通の利用促進に関する取組</li> <li>・地域公共交通の担い手(事業者・運転手等)確保に係る取組</li> </ul>					
連携市町の役割	<p>【岩見沢市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者、各市町及び関係団体との企画調整等総合業務</li> <li>・各市町の意見・各種情報の集約</li> <li>・その他、連携における中心的な業務</li> </ul> <p>【夕張市、美唄市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の積極的なプロモーション活動の実施</li> <li>・各市町における意見・各種情報の共有</li> <li>・その他、連携における各種協力</li> </ul>					
事業効果	<p>圏域住民の日常生活に必要な交通手段の維持・確保により、住民福祉の向上及び地域の活性化が図られる。</p>					
事業見込額 (単位:千円)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	計
	7,000	4,000	4,000	3,000	3,000	21,000

(2) ICTインフラ

ICTインフラの研究・活用

(協定の内容)

急激に進む人口減少に伴う労働力不足、業務の高コスト化などの諸問題に対応し、行政サービスの維持・確保や地域活性化を図る目的で、行政・産業各分野へのICTインフラの活用を連携して進めていく。

(具体的取組)

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTインフラを活用した地域課題対応の検討や先進事例の共有、実験的事業の検討</li> <li>・自治体クラウド(各市町の情報システムやデータを外部のデータセンターにおいて管理・運用し、共同利用する取組)導入を見据えた調査・研究</li> <li>・RPA、AI等、ICT技術活用の研究及び実験的事業の検討</li> </ul>					
連携市町の役割	<p>【岩見沢市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町と連携して行う取組の企画調整等総合業務</li> <li>・民間事業者・関係機関等との連絡・調整</li> <li>・その他、連携における中心的な業務</li> </ul> <p>【夕張市、美唄市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町における意見・各種情報の共有</li> <li>・その他、連携における各種協力</li> </ul>					
事業効果	圏域住民における利便性向上により、暮らしやすい環境形成に資する。					
事業見込額 (単位:千円)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	計
			1,000	2,000	3,000	6,000